

# 平成 22 年度大磯町教育委員会第 7 回定例会会議録

1. 日 時 平成 22 年 10 月 20 日 (水)  
開会時間 午前 9 時 00 分  
閉会時間 午前 10 時 35 分
2. 場 所 大磯町役場 4 階第 1 会議室
3. 出席者 岩 井 喜久枝 委員長  
竹 内 清 委員長職務代理者  
大 橋 伸 明 委員  
曾根田 眞 二 委員  
福 島 睦 恵 教育長  
二挺木 洋 二 子ども育成課長  
林 正 人 子ども育成課主幹  
大 隅 則 久 子ども育成課子育て支援室長  
松 本 卓 次 生涯学習課長  
山 口 章 子 生涯学習課図書館長  
佐 川 和 裕 生涯学習課郷土資料館長  
山 口 信 彦 子ども育成課副主幹
4. 傍聴者 1 名
5. 前回会議録等の承認
6. 教育長報告
7. 報告事項  
報告事項第 1 号 学校プールの整備について  
報告事項第 2 号 子ども議会について  
報告事項第 3 号 第 9 回図書館まつりの開催について
8. その他

## (開 会)

出席委員が 5 名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 2 項の規定により定例会は成立し、現時点で傍聴人はおりませんが、以降傍聴人が見えた場合は、大磯町教育委員会会議規則第 14 条及び第 19 条の規定により傍聴を許可します。

## (前回会議録等の承認)

委員長より前回会議録の項目を読み上げ、出席委員全員の承認を得る。

## 教育長報告

教育長) 私からは、9月定例会が開催されました平成22年9月29日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。9月29日、教育委員会定例会終了後、大磯幼稚園を訪問し保育状況や施設状況を参観し、その後、先生方との意見交換を実施いたしました。9月30日、第6回民間幼稚園選考委員会が開催され、税理士による4法人の財務審査を実施しました。10月1日、生涯学習館において、OISO学び塾として「地域活動入門相談会」を開催し、24名の参加がありました。また、10月1日から10月8日にかけて、町立幼稚園の入園説明会を実施いたしました。4日間で148名の保護者の方が説明会に来られました。10月2日、秋晴れのもと、小磯幼稚園・たかとり幼稚園の運動会が実施され、大勢の保護者や家族に囲まれ、園児たちは元気に、運動会を楽しんでおりました。10月4日、社会教育委員会議を開催し、社会教育関係団体補助金などについて検討いたしました。10月6日、おおいそ文化祭運営委員会を開催し、今年度の文化祭の最終的な調整、打合せを行いました。10月7日、開成町立南小学校で開催されました町村教育長会に出席しました。内容といたしましては、教育長会の役員人事、ブロック別研究の中間報告等を行い、4月に開校した開成町立南小学校の授業参観、施設参観を行いました。10月11日、2日間の順延のあと、大磯、国府両小学校秋の運動会が盛大に開催されました。小学校の運動会においても、大勢の保護者や家族の方が見えておりました。10月14日、第7回民間幼稚園選考委員会が開催され、応募のあった4法人の一次書類審査を行いました。今後、法人が経営している幼稚園において実施審査を予定しております。同日、安全衛生推進委員会を開催し、教職員の健康管理、メンタルヘルス等の各校の対策について、産業医を交えて、情報交換を行いました。10月15日、生涯学習館において、10月17日、図書館、郷土資料において、防災訓練として、避難誘導訓練、消防機関への通報訓練などを実施しました。10月16日、交通安全町民総ぐるみ大会が開催され、町立小中学校の児童生徒の作品が、交通安全標語、交通安全ポスター優秀作品に選ばれ、児童生徒12名が当日、受賞いたしました。10月17日から、郷土資料館においては、企画展「受け継がれる祈りのかたち」を開会しました。その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりであります。また、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。以上でございます。

## 報告事項第1号 学校プールの整備について

子ども育成課主幹) 学校プールの整備につきましては、生沢プールの廃止に伴いまして、平成20年から、教育委員会や町が主体的に検討会を立ち上げ検討してきた経緯がございます。昨年度末の町の政策会議である程度の方向性を出した後に、現在までに4回ほど福祉文教常任委員会等で議会への報告を行ってまいり

ました。本日、用意した資料は4回の福祉文教常任委員会で、直近の9月と10月に報告した際に資料提供したものと、同じく10月の説明の際に説明資料として出した現段階での基本構想でございます。それでは、資料を見ながら簡単にご説明いたします。まず「資料の1」でございますが、こちらは、現在までの経過ということですが、もう一度ここで、簡単に経過をおさらいしますと、まず、平成20年の6月13日に生沢プールの廃止条例が可決されまして、それに伴いまして、6月20日から教育委員会が主体的に立ち上げた学校教育及び社会体育プールに関する意見交換会・検討会を開催いたしました。この検討会を重ねた結果、報告書をまとめまして8月の定例会で提出をさせていただいて、この時は「社会教育委員会へ諮問してよろしいか」ということで承認を得たということで社会教育委員会へ諮問いたしましたして、10月には教育委員会へ答申が提出されました。それを受けまして、12月に町へ委員長名で要望書を提出しております。裏面にいきまして、その後、町は要望書を基に町としての検討会を立ち上げ最終的に22年の3月の政策会議である程度方向性を出しました。その後、一般質問等でもプールについては、何度か質問を受けて答弁をしている経緯がございます。次の「資料の2」でございますが、9月の福祉文教で提出した資料で、今年度の設計関係の予定でございます。中段の「基本設計」でございますが、この表ではすでに提出されている予定になってございますが、予定より若干遅れていて11月の初旬ぐらいの予定でございます。次の「資料の3」が、最初に教育委員会として立ち上げた「学校教育及び社会体育のプールに関する検討会委員名簿」でございます。次の「資料の4」でございますが、こちらは、教育委員会から町に要望書を提出した後に、町として立ち上げた「大磯町西部地区町立プールに関する検討会委員名簿」でございます。次の「資料の5」は、教育委員会委員長より社会教育委員会議に諮問したときの文書でございます。そのときに添付した資料としてお渡ししたものが次ページ以降の別紙及びその次からの「学校教育及び社会体育のプールに関する検討報告書」でございます。これがずっと続きまして、これにページを打ってございまして、16ページまでその時検討した資料と報告書が続いております。報告書をまとめた時には、社会体育プールや学校プールなどさまざまな観点から検討して参りましたので、現状での社会体育プールの参考図ですとか、あるいは現在の運動公園に社会体育プールを持って来た時の平面図や国府小学校の平面図もお渡ししてございます。次の「資料の6」が社会教育委員会議議長より教育委員会に提出された「答申」でございます。答申の裏面にございますように概要として、そこにも記載のとおり「学校プールではあるけれども夏休み期間中は町民にも開放できること」を要望してございます。あるいは「学校水泳授業の充実」を要望します。それと「早期のプール整備」を要望します。「将来的には屋内型の社会体育プールの検討」を要望しますという形で答申が出てございました。そしてそれを受け、「資料の7」が、その後、教育委員会委員長より町に提出した「要望書」でございます。ここまでの、9月と10月の福祉文教で資料提供したものでございます。さらに、「資料の8」が、10月12日の福祉文教で、現段階での基本計画検討書として提出したものでございます。こちらについてご説明いたします。一枚めくっていただきますと、現在予定している国府小学校の敷地の形状、また、基本的な考え方等が記載されております。02ページからプールの材質比較が載ってございますが、福祉文教でもご説明いたしました。現段階では、様々な要素からステンレス無塗装がよいのではないかと考えております。次の04ページからが循環ろ過装置の比較表になっております。

こちらは、現段階では砂ろ過装置が良いのではないかと考えております。また、06 ページ以降に具体的な構造計画を載せてございますが、配置場所として、グラウンド東側のグラウンドの一部が東側に飛び出ている部分を予定してございます。また、平面図として、07 ページに記載がございますが、全体の大きさとして、60m×20mで約1,200m<sup>2</sup>で、25m×5 コースの高学年用プール及び低学年プール、また、付帯設備としてトイレ・更衣室・管理室・倉庫等を考えてございます。また、防災対策の一環として、マンホールトイレの設置を考えております。08 ページは、断面図になっております。以上のように10月12日の福祉文教常任委員会で説明をさせていただきました。その中でいくつか質問やご意見をいただきました。もともと、この委員会で議員さんからの具体的なご意見・ご質問をいただき、基本設計やその後の実施設計に反映させたいという目的でございましたので、この形が最終ではないということでご説明させていただきました。そういうことで、具体的なご意見・ご質問としては、低学年用のプールの大きさについてのご質問でこの大きさも未確定で、今後、水泳の形態では一度のプールに授業を実施する児童数の関係もございまして、サイドのスペース等も考えながら、小学校の先生の意見を聞きながらその辺は決めていきたいと考えております。当初、最初の検討会の資料の中では一般的な学校のコースは形態では、6コースということで最初提案していたのが、5コースに変更して提案したのですが、これをどうして6コースから5コースに変更したのかという質問がありました。全体の幅を極力押さえグラウンドを出来るだけ削らない方向で、次の質問でスロープの設置はどうかという質問がございまして、スロープが付いていて、身体障害者や高齢者、あるいは小さい子どもが入りやすい構造になっている関係もございまして、6コースを5コースに変更させていただいて、スロープを設置することを考えていると答えています。太陽光の設置ですが、こちらについては町の方針もございましてけれども費用対効果と考えて検討してまいります。駐輪場の場所ですが、現段階では昇降口前と体育館東側スペースを考えていると答えてございます。日よけやベンチの位置についてのご質問ですが、子どもが集まれるスペースや日差しの状況を考え設置すると答えてございます。具体的な中身に関することはそのようなことではございませんが、それ以外では、当初、議会等でもおよその概算工事費として示していた1億9千万円という金額がございましたが、それが少し高額ではないか、その根拠についてというご質問があり、これについては議会等でも答弁しておりますが、通常の学校プールで25mが5から6コースのプールですと、約1億5千万円という相場もございまして、それに、今回は低学年用プールや防災設備等を考え、約1億9千万円という数字が出たと説明しております。また、これも何度もご質問された内容で、今回のプールは、「学校プール」なのか「社会体育プール」なのかというご質問ですが、これにつきましても、何度も課長や教育長からもご説明しておりますが、設置形態としては「学校プール」として整備するということではございますが、「生沢プールを廃止した経緯を踏まえ、小・中学校の水泳授業を第一に考えた学校プールではありますが、夏季休業中は一般町民にも開放していくことが出来るプール」である。というのが一貫した考え方であることをご説明しております。また、最後に、今回の設計業者が、たかとり幼稚園と同じ設計業者であるということに対して、どうかというようなご質問もございました。現在、たかとり幼稚園での明らかに設計・施工における不備については、早急に対応するようというところで、こちらでも対応してございますが、今回の契約については、正当な手順を踏んで入札

等も行っておりますので、その件で、今回の契約を中止することが出来るかどうかについては、財政課のほうにも確認をするということで答えております。前回の福祉文教常任委員会での説明、ご質問等を含めて現段階での学校プール整備についての報告です。

(質疑応答)

曾根田委員) まず、「資料1」の平成22年3月12日の政策会議で決定とありますが、これは町の政策会議でよろしいですか。

子ども育成課主幹) 町の政策会議になります。

曾根田委員) 2点目ですが3ページの基本設計が6月からずれたお話がありましたが、実施設計の関係もありますが、基本的に建築設計を委託しているのですよね。11月というのが良くわからないのですが、6月7日に入札があって落札されて伊藤建築設計研究室に決まっているのですが、工期が3月16日で11月が出てくるのがわからないのですが。

子ども育成課主幹) ずっと流して3月末で設計が固まってしまいますと変える要素が無くなってしまいますので、こちらの方で基本構想を踏まえて1回(案)を貰ってさらに基本設計ということで、大体の設計が出来た段階で議会や教育委員さん達もそうですが、いろいろなところに意見をいただきたいということで、一度この段階で切らしていただいて、意見を吸い上げて、それを反映できるように11月の半ばくらいで切っていただきたいと考えておまして、議会のところに説明した時は、設計までは行っておらず構想までしか出来上がっていなかったのもので議会ではそこまでを説明させていただいたのですが、そこでいただいたものも含めて最初の段階で一度基本設計を完成させたいということです。

曾根田委員) 実施設計は。

子ども育成課主幹) もう一度、議会の方にまたそれを報告させていただきますので、そこでまた細かいご指摘があれば、変更を設計業者にお願いして、そこに書いてございます、建築・電気等の設計に入ってもらおう形です。

曾根田委員) 伊藤さんが基本設計も実施設計も全てやる。今、おっしゃった中で聞いていると、うん、うんとは思いますがあまりにも7, 8, 9で構想だけというのは甘いのではないかと思います、何で構想しか出来てないのですか。

子ども育成課主幹) 具体的にこちらの考えをもとに図面を引いたりすることは可能だったのですが、ある程度完成した形で議会の方に報告しても、後でかなりの部分で変更が出てくることあって、絵としてはおよその形で示すことで、具体的なご意見をいただきましたかった理由としてあげられます。

曾根田委員) プールの設計だから複雑な設計ではないと思うのでもう少しスピーディにやってもらいたい。3点目ですけれど、政策会議が3月にあって決定されて、いろいろ報告されていますが、何故、10月のこの時期に教育委員会定例会に報告があるのか。今まで何で情報提供がなかったのですか。政策会議で決定された大事な決定を教育委員会の主管である学校プールを全部終わってからこうでしたというのは違うんじゃないのですか。もっと早く情報を出すべきではないのですか。

子ども育成課主幹) 福祉文教常任委員会の方に4回程説明していた中で、何回か事務連絡調整会議の中でお話をさせていただいたかと思えます。ある程度、基本構

想が出来て福祉文教常任委員会に説明いたしましたので、区切りとして今日、報告事項で報告をさせていただきました。

曾根田委員) 事務連絡調整会議は良いのですが、正式なのは定例会ですよ。こういう状況ですよという報告だけでももっと早く出すべきだと思います。

子ども育成課長) 曾根田委員のおっしゃるとおりで委員会と定例会との日程が逆になってしまい、今回の報告は遅かったとっております。報告を9月30日にできれば良かったのですが、申し訳ないのですが、まだ資料が出来てなくて10月5日頃、資料が届きましたので委員会の方は先にということで、定例会では報告できなかったということでございます。

曾根田委員) 資料ができてないというのは良いんです。こういう状況ですよという報告があっても良いのではないかとおっしゃっているんです。

子ども育成課長) 先に教育委員会定例会で報告するべきだったと思います。

竹内委員) 今の曾根田委員と同様の意見ですが、私も地元の人間として、プールの問題を地域の人から聞かれることもあります。その時に言っていることと決まっていなかったことがあるのは重々承知していますが、一応口頭でも良いのでこの程度進んでいますよというところくらいまでは、教えていただいていた方が私も教育委員になって初めて今までの経過を知って、自分で調べれば良かったのですが、この辺のところは良く分からなかったし、人から聞く中で自分として把握していった状況でした。それで質問ですが、今の話で大体わかったのですが、07ページの大まかな設計の中で、常任委員会の方でいろいろな意見をもらったことがあってこれから、手直しをしていくのかなという感じで受けとめていますが、一応、これが基本的な大本となる部分で、少しずつ手直しをしていく形で理解をしておいてよろしいでしょうか。

子ども育成課主幹) 今、言われたとおり、まだ、これは決定事項ではありませんので、議員さんからいただいたご意見ももちろんですが、教育委員さんからも意見を出していただいた中で実施設計に反映させていきたいと考えております。

竹内委員) グラウンドの東側に今のところ、計画していますが、これは個人の意見で、今までの論議も経過も知らないで私の印象だけでお話しますが、先日、国府小学校の運動会を見に行った時に、ほとんどグラウンド全てを使って保護者席があったり子どもの席があったりということで、あの場所にプールを造ることになるとかなり狭くなってしまふかなと思います。現状でちょうど良いというか、割合ゆとりもあって良いと思うのですが、これにプールが出来ることによってかなりグラウンドの面積が狭くなって、大きなイベントの時に十分に対応できるのかなというのが心配ですが、検討されてこの位置にされたと思いますので、その辺の経緯を教えてください。

子ども育成課主幹) 教育委員会として平成20年に検討会を立ち上げて4回程検討会を開いた間に学校教育関係者に入っていただいて、場所等の検討をしてきたのですが、ベストとは言わないのですがベターな場所ということで最終的にここが最も良いということで、現在のところはこの形で進めています。ご承知のように運動会の時に東西にトラックを取っていたと思いますが、あれは1周180メートルくらいでかなり大きめにとっています。この形になった時にこちらが考えた時に120メートルのトラックであれば縦横にも取れる、小学校体育担当者もそのところは、120メートルあればということでしたので考慮して

ございます。その他の敷地として保護者が観覧する場所についてもスペース的には余裕がありますので、現在よりは多少手狭になりますが、運動会等の行事が普通にできると考えております。

竹内委員) 今、グラウンドで子どもたちが運動や授業ができるスペースが十分に取れるようにして欲しいと思います。また、サッカーとか開放とかでも使用するの  
で気になりました。

曾根田委員) 全部資料を読ませていただいて、20年に付議した議事も拝見して、いろいろ検討されており間違った方向ではないので、今の状況を踏まえながら如何に効率的にやるのかなので、なるべく早く設計を終えるようにしてみんなの意見を聞いてやっていきたいと思ひます。

子ども育成課長) 竹内委員からもありましたが、グラウンドを如何に犠牲にする分を少なくするかということで県道側もどうかという話もありましたが、配管がたくさん通っていて、25メートルも取れなく、あとはグラウンド内で東西どこにするかいろいろと検討したのですが、この中で林主幹の方から先ほどありましたとおり、120メートルのトラックに大体5コースくらいの型紙をとってできるということで、この段階でプールの幅が20メートルから22メートルになるとへこみから多少出てしまうということで、6コースから5コースに変更したということで出来るだけ減らしたいということで、ここで20メートルでプールサイドが3.9メートルとってありますが、ここまで必要かどうかということもあって、ここまで必要でなければ18メートルに出来ないかということも検討しておりまして、プールの場所については一番の課題だと思ひておりますので、今後できるだけグラウンドを犠牲にしないような形で進めていきたいと考えております。

## 報告事項第2号 子ども議会について

子ども育成課長) 先週、10月17日、日曜日に政策課の担当で子ども議会を開催しました。大磯小学校、国府小学校6年生12名、当日、1名欠席されましたが、当初では12問の質問がございました。別紙資料のとおり教育委員会関係では、4名から質問が出されましたので、その質疑等について報告をさせていただきます。まず、1ページ目で豊川議員から1クラスの人数についてご質問が出てございます。大磯小学校の6年生は今、4クラスで40人ギリギリでやっていることもあって1クラスの人数について学校でどうなのかという趣旨の質問でした。全国の公立学校で法律によって1クラス40人と決められていて、大磯小学校の6年生は160人を40で割って4クラスでやっている。4年生については163人で40で割るとオーバーしてしまうので、5クラスにしているという具体例で説明いたしました。それで大磯町の現状で法律では定められているけれども、市や町で多少クラスを多くすることも許されているということで、大磯小学校の1年生、2年生については1クラスを35人にしようということで現在35人学級で、国府小学校でも1年生については35人学級以下の学級でやっているという回答しております。それで児童の方からは1問の質問で答えるという形で再度自分の意見を述べて終了という形で、教育長の1問目の回答の後で、

豊川議員からはクラスの人数が多いとなかなか理解できない部分も多いので自分としては1クラス20人くらいにしてはどうかという提案がございました。それについてどうかという再度のご質問でしたので、教育長の方からは40人のクラスを半分にすると小人数字学習もしている。教育長としても1クラス20人というのは理想的な数字だと思うが、しかしながらそういったクラスを増やすことによって先生の人数を増やしたり、いろいろな課題があると説明してございます。国の方では法律で40人となっているけれども国の方でも見直しが検討されている。その見直しが早く実現することを望んでいると回答してございます。2番目の津曲議員からは、小学校、中学校の児童生徒の清掃活動についての質問でした。通常やっている清掃活動ではなく、小学校、中学校の生徒が町の清掃活動をしたら町がきれいになるのではないかと趣旨の質問でした。教育長の方からは、そういった考え方の提案をいただいたことに感謝すると冒頭述べさせていただきました。それで実際、小学校、中学校の清掃活動は、普段の清掃ですとか卒業時の時の清掃、それとPTAとの共同で運動会前の清掃をやっている。大磯中学校においては、今年の2月に卒業記念で学校の清掃活動だけではなく、町全体の海岸清掃ですとかをやったと報告させていただきました。それで児童会や生徒会で発案して清掃活動をしていただければ大変喜ばしいことだと回答をしてあります。それで回答を受けまして津曲議員からは、再度提案として、自分達、小学生、中学生で清掃活動をするようになれば町もきれいになるし、大磯町に来てくれる観光客もきれいな町だと思ってくれるのではないかと、みんなでそういった清掃活動ができればいいと思うとの提案でした。最後に、町長の方からは、小学生や中学生が自主的に清掃活動を行うことによって、周りの大人の方も一緒になって清掃活動に参加してくれると思う。また、町がきれいになれば、大磯町に観光で訪れた方にも、気持ちよく過ごしてもらえますし、大磯町のイメージアップにも繋がります。是非、みなさんで清掃活動を拓げていってくださいと町長からお願いの回答もしてございます。それから国府小学校の校庭にありますスプリンクラーの使用に関してスプリンクラーがあるのに、あまり使わないのはなぜかとの質問でございました。教育長より国府小学校のグラウンドについては、グラウンドの土を平成9年に改修した。グリーンサンドですが、1粒1粒が他の砂に比べて重たいため、砂ぼこりが舞いにくいという性質の土を使っているため水を撒かなくてすんでいるとの説明をしてございます。また、スプリンクラー2箇所とスプリンクラーの届かない場所は、水を撒く水道が整備されているとの国府小学校のグラウンドの散水の現状を回答してございます。それに対して意見として、せっかくスプリンクラーがあるのだから晴れていて、風の強い日は砂が目に入ったりするのでスプリンクラーを使ってほしいとのお話でしたので、教育長の方からは、先程説明しましたがグラウンドの土は比較的砂埃が舞いにくいものを使っているけれども乾燥している場合は、スプリンクラーだとか全体を使用しないのであれば部分的に水を撒くとか、そういったご意見は、学校にも伝えていくと回答してございます。最後に4番目、大磯小学校の体育館は耐震診断しましたかとのご質問でした。これに対しまして教育長の方から大磯小学校の体育館については、平成4年に耐震調査を行った。その結果、強い地震に対する安全性はあるとの診断がされていると回答しております。その他の町立幼稚園や

小学校、中学校についても耐震性が保たれていますとのお話をしてございます。そうはいうものの耐震調査を行って何年も経っていてそれがどうなるかのご質問でしたので、それについては建物が長くなれば建物の年数等に合わせた基準値がだんだん下がってくるといった、当初の数字がそのままいくのではないと、それはコンクリートの中酸化等でいろいろなものを工夫して強度を保てば当初の基準値は保たれるんですよとお話はしてございます。大磯小学校については、さまざまな場所で痛んでいる状況も確認されているのでなるべく早い時期に建替等を含めた検討をしていく必要があるとお答えをしてございます。2点目の意見につきましては、学校関係だけではなく全体のことだと思いますが、万が一の地震に備えて耐震調査を行うことが大事だと思います。その耐震調査の結果は利用する人たちに伝えないとどこが安全でどこが危険か分からないので、町民の方にもきちんと情報を伝えてほしいというご意見が出されてございまして、これについて町長の方から耐震に関する資料をお知らせすることは被害者を少なくするため非常に重要なことである。大磯町では大きな建物の耐震化をしている。建物の倒壊から人の命を守るため、昨年10月に大磯町耐震改修促進計画を策定しましたということで、この計画には耐震診断のいろいろなことが書いてあって耐震調査の結果も記載されている。こういった計画については、ホームページ等で見るのでぜひご覧くださいと、一方で建物の耐震化に対する個人住宅の一部の補助等の制度もあるのでそういったものもぜひ活用くださいといった情報も流してございます。教育委員会関係の質問につきましては以上でございます。他の質問等について回答等は載せてございませませんが、回答等の資料の整備ができましたら情報提供させていただきたいと思っております。

(質疑応答)

竹内委員) 今回、初めて子ども議会を拝見させていただきました。日曜日の午後ということで子どもたちにとってもここに至るまでの準備が大変だったのかなという感じもするし、質問にもっていくまでの先生方の指導もあったと思えました。議員さんの質問にも似たような質問があって、子どもたちといえどもかなり考えた質問で、町民を代表しているような質問もありましたので良かったという感じがしました。この貴重な時間を使って議会を体験したということで、あの場限りで終わるのではなくって、いろいろな機会を活かしてもらえれば、学校の方としてもありがたいと思っております。今日この報告をするという案内があった時、こんなに細かく説明してもらえと思わなかったもので、実際議会の報告と同じように取り扱ってもらったということを学校の方に知らせてもらって、学校の方に返してもらおうと1日限りではなかったんだと町の方も重く受け止めてもらえたとし、政策の方にも活かしてもらえと思っております。最後に町長が話しをした中で貴重な意見をもらったと、取り入れられるものは取り入れていくという話があったので、もしこの中のどれかを取り入れて政策に反映したというものがあれば、本当にこれをやった意味があって、次の年へ重く学校としても受け止められていって、子どもたちの町議会や町、行政への係わりというものが本当の意味での連携に繋がっていくと思っておりますので、政策等に取り上げられものがあれば取り上げていただきたいと思います。

子ども育成課長) 1 点目について、これのビデオ撮影もしました。学校の他の子どもたちにも見てもらった方がよいのではないかとということで、そういうことも考えてございますし、学校へも情報を伝えていきたいと考えております。これの反映についても教育委員さんから貴重なご意見をいただきましたので、政策課の方にも、また、こういった質問に対して、こういったことをしたということ子どもたちに実施してほしいということで政策課にも投げかけていきたいと考えております。

大橋委員) 子どもたちの鋭い質問内容に驚きました。現役小学生ならではの内容なのでうなずくばかりですね。この耐震化の学校の施設はどれくらいだということを表示するというのはとても良いことだと思いました。

子ども育成課長) 教育委員会自ら、ホームページ等に学校は安全ですよということで、I S 値が 0.7 から 0.8 というのがどういうものか、そこから説明しなければならぬのですが、子どもたちからこのような話があったので教育委員会として回答するというので学校の耐震化についてということで記載していきたいと思えます。

大橋委員) 壁に貼るといのはどうですか。体育館等の壁に貼るとか。

子ども育成課長) 全体でいくつという数値ですので、学校とも相談して考えていきたいと思えます。

曾根田委員) 小学生にしては突っ込んだ質問をしていますね。1 ページの町の体育館についてはどのような回答をされたんですか。

子ども育成課長) 町の体育館は運動公園に当初、体育館を建てる計画があったということで、それでだんだん経済状況が悪くなって建てるのが難しくなったということで、あまり期待を持たせてはいけないということで、町長の方からは町にお金の余裕が出来た段階になればということで、今すぐに建てることは厳しいという現実的な回答をさせていただきます。

教育長) この当日、6 年生の担任の先生、校長先生方もおみえでした。その休憩時間に 6 年生の担任の方に私の方から社会科で今、歴史の勉強をしています。もう政治の勉強に入る時期ですので、ぜひ今日の経験を授業の中で活かしてほしいというお願いのお話をさせていただきました。また、先ほどから出ている子ども議会についての教育委員さんのお話は 27 日に経営者会議がありますので、私の方から校長先生に伝えさせていただいて、お話をさせていただくようにしたいと思えます。

委員長) 私も当日傍聴させていただきましたが、大変、子どもたちがなめらかな口調で発言や質問をしている姿に驚かされました。これから学校教育で課題の多い言語教育なのでそのような機会は大切だなと感じました。新聞にも質問した時は緊張しましたとありましたが一人ひとりの子ども達の感想を聞いたら私達としても参考にできるのではないかとと思えます。学校にお願いできたらと思えます。

### 報告事項第 3 号 第 9 回図書館まつりの開催について

図書館長) 報告事項第 3 号図書館まつりの開催について、資料に基づきご報告いた

します。資料を1枚おめくりください。今年、第9回を迎える大磯図書館まつりは、11月21日、日曜日に開催いたします。主催は大磯町立図書館、図書館のボランティアで構成されている実行委員会との共催、NPO法人大磯図書館同人大きなおうちの協力により開催いたします。図書館まつりは、利用者の相互のふれあいの場づくりや、ボランティア活動の技術の向上を、その開催趣旨としております。実施内容につきましては、昨年度と同様ですが、下から2番目の休憩コーナーの内容は、昨年度は有料で飲み物・ケーキを提供したものを、無料のお茶を提供し、休憩コーナーを設置するものに変更したものです。裏面をご覧ください。今年は、関連事業を開催いたします。展示コーナーを利用しまして、プレ展示と報告展示を行います。広報等につきましては、昨年度同様、広報おおいそ11月号の図書館・郷土資料館だよりに掲載するほか、ポスターの掲示を町内民間施設にもお願いしてまいります。

(質疑応答)

曾根田委員) 関連行事でプレ展示とありますが、図書の破損等はどのような状況ですか。

図書館長) 図書の破損状況ですが雨の日が続いたりすると破損が非常に多くなっております。年間にしますと、300冊程度が破損の対象で、図書館で修理をしまして、月に10冊程度は、文庫本とか新書本など、破損の修理できないものも多く廃棄をしています。

曾根田委員) 故意にやられたのはありますか。

図書館長) 故意というのはあまりないのですが、飼っている犬が噛んでしまったとか、事故的なものはあります。他には雨の日にビニールカバーをしないで持ってきてしまって雨に濡れてしまったとかそのようなものがあります。

曾根田委員) わかりました。利用マナーの啓発のようなものも同時にやるのですか。

図書館長) 今年がはじめての試みですが、本が悲しんでいます、返却の時に気をつけてください、大事に使ってください、というようなメッセージは載せていきたいと思えます。

竹内委員) 今の質問に関連してマスコミの報道等で聞くと本の必要なところだけ破ったり切り取ったりして返却される例があると聞きますが、今の話からだ大磯は無いという理解でよろしいですか。

図書館長) 本については、故意はないとお話しましたが、雑誌については、事例が出てきております。特に女性誌の切り抜き、必要な部分をコピーせずに切り抜いて返される。返却の時には、全部チェックできませんので、最新号は貸し出しをしません、という形で掲示しています。切り抜きに関しては、本というより雑誌に多く見受けられます。今回の展示では、破損本ということで、雑誌ではなくて本を対象に、廃棄する予定の本を展示いたします。確かに、故意で破損されることもありますので、訂正させていただきます。

## その他

曾根田委員) 質問があります。先ほどプールの話がでましたが、民間幼稚園の関係

ですが、1、2回は報告がありましたけどどのような状況か教えてもらいたいというお願いですが。

子ども育成課長) 民間幼稚園については、教育長からの報告にもありましたが、今月については審査に入りまして、財務審査、書類審査、実施審査ということでなかなか資料も出せない状況ですが、その辺について予定としては、12月ごろに最終的な審査になるかと思えます。今のところは先ほどの教育長からの報告のとおり財務審査が済んで11月9日、11日に選考委員会のメンバーが実施審査ということで見に行くということで審査の3段階目の状況になってございます。それが終わった後にプレゼンとなっておりますので最終的な審査に入ります。

曾根田委員) 法令順守もあるのでそこは良いのですが、例えば、見学に来たのは、何社でとかオープンに出来ないものはそれがかまわないので、我々はどちらかというところから聞くことが多いので、なるべく共有できるものは共有してもらいたい。

子ども育成課長) まだ、法人については公表もしておりませんので、4社ということで、検討委員の方も実施審査に行きまして初めてのどこの幼稚園が手を上げたかわかる状況ですので、まだ法人名については公表しておりません。公表できるところはしていきたいと思えます。

曾根田委員) 委員会の定例会がどういう状況かというのは良いんでしょ。オープンに出来ないものは除いて。

子ども育成課長) 定例会での審査内容等については、室長の方から3回程報告はしていると思えます。その辺の概要までの報告で細かい内容についてはちょっとできません。

曾根田委員) 今、電子黒板が入っていると思いますが、見えるところでは、来年度、国の緊急経済対策で何億円か出る予定ですが、その中に安心安全とか入っていて明確には決まっていますが、今のところ国の補助があるかわりませんが、今後、電子黒板の導入について検討とかはされていますか。

子ども育成課主幹) 去年も国の大型補正の関係で整備した状況で各学年に1台という形で整備しました。今年度は実績を作っていかなければいけない。研修等もおこなっていますが、これを重ねることによって学校からもっとほしいという声があることを我々としては期待しております。理想としては各教室1台ですので将来そうなるように学校の先生方から声が届くくらい活用していただきたいと思えます。

曾根田委員) 県内でモデル校となった大和市は、独自予算で全部の小中学校につけるみたいですが、他の市ではパソコンを整備したり、別に回答じゃなくってざっくりとどうしていったら良いのかな。

子ども育成主幹) 使っている教員を含めて子どもの話を聞くとインパクトもあるし、子どもたちの目の色も変わるし良さもたくさんありますので、大和市のようという思いもあります。現場とのギャップがあるとただ入れるだけでは無駄になる場合もありますので、兼ね合いが難しいのですが理想的には入れたいという思いがあります。

曾根田委員) 別の方式でパソコンで作ったものを共有化して、例えばプロジェクターを使ってだすとか、他にもいろいろと考えがありますがそういうのをいろいろと検討していった方が良いのかなと思えます。一番良い方法で検討していか

いと予算も絡みますし、来年度の予算はこれからですよ。話は飛びましたが県内の状況がいろいろあって悩んでいるので、大磯町も悩んでいると思うのでどういう状況か聞いたかったです。確かにビジュアルなので効果はあると思います。どう使うかを考えないといけないと思うので検討して行きましょうねという話でした。

子ども育成課長) 国の大型補正については、こちらも注目しております、ICTもさらに出るということで、電子黒板については1年で評価はなかなかできなくて全部入れるというのは難しい時期で去年もそうでしたが電子黒板、教員のパソコンとか子どものパソコンとかいろいろメニューがあって、教員のパソコンよりは電子黒板ということで今考えているは小学校の校務用のパソコンは補正があればそっちでも考えておりますので、あと安全安心の方も通知が来て、原則的には安全安心なまちづくり交付金でやるということで22年度予算ですと耐震がより優先ということもあって、他のものがなかなか採択されないこともあって、こちらだと採択が出来るということで前倒しで国府中学校のグラウンド改修については交付金のメニューにはありますが、それが採択されるかは難しいので22年度の大型補正で申請しようという準備は財政課ともしてございます。安全安心の工事の関係とICT整備も昨年のように出てくるということなので有効に活用して財源を確保していきたいと思っております。

曾根田委員) 学校の先生は忙しいでしょうし、忙しいとおっしゃっている。その中身は学校の授業に関するもの、校務に関するものがあると思いますが、授業以外の仕事、学校事務とか教育委員会への連絡とか、あるいは成績を付けるとかいろいろな作業があると思いますが、授業以外の項目のウェイトはどれくらいあるのですか。

子ども育成課主幹) 個々の教員の担当にもよりますが、本当にそっちの方が授業よりウェイトが高いのではないかとというくらい、授業に対する教材研究に割く時間よりもその他の時間の方が多いと思っております。

曾根田委員) そこをある程度減らせば生徒指導に専念できるよねというのがあって、10月に入って総務省がいわゆる学校の校務用のシステム化、IT化を進めて行こうという話でASPとかSaaSとかのシステムを使ってやって行きましょうというのが総務省の考えで、先日、校務分野におけるASPという事業者向けASPガイドラインを作って、これは事業者向けなのですが、合わせて教育関係者向け、そのシステムを使うのは教育委員会とか町でそれを扱う上でのガイドラインにもなりますよということでオープンにされているんですよ。校務をいかに効率良く減らして学校授業の関連に振り向けていこうということを推進していくのですが、今、大磯町としてそういった校務の扱いを検討されていますか。

子ども育成課主幹) 教員の多忙化に関して県からの調査もございまして教育委員会として主体的に校務、いわゆる教材研究以外の部分の仕事の軽減化に働きかけをしているかというアンケート調査がございまして、教育委員会としても考えなければいけないということで、今のところ体制は出来てないのですが、校務のICT化に伴って中学校に校務用パソコンを入れたのも1つにはそういう目的もございまして。事務処理いわゆる、指導要録とか成績、学籍関係を一括して管理する機能が中学校に入って、まだそこまでの研修はやっていませんが、使い

きるところまでいっていませんがそういった形で使うのか、役場の中のパソコンは全部、そうですけれども、朝きたらパソコンを開けてその日だれがどんなことをするのかを課内の中でわかるシステムが中学校の中に入っていますから、小学校も来年入る予定ですので、この部分の研修を重ねて、最初は学校職員というのは、それに取り付くのが苦手な部分がありますので管理職が主体的にこれでいくんだというリーダーシップをとってもらう形でやっていけばかなりスリム化に繋がると思っております。

曾根田委員) 平塚市もそのような校務システムが入っていて交換の時期でいろいろ大変らしいですけど、まずはパソコンが入っていないといけないし、LANも必要だし、いずれ早いうちには学校の先生へ早く町として配備していかなければいけない状況になってくるので、合わせて校務でシステム化できるところは検討した方が良いと思います。

竹内委員) 先日、横浜市で対教師暴力があったことが新聞に出ていて夏休みが終わって2月経ちますが状況はどうなのかなと思ひまして質問しました。それ以前に川崎市の方でいじめによる自殺があったりして生徒指導の問題がまた出てきたのかなと思います。町で把握している限りで教えてもらえればと思います。

子ども育成課主幹) 9月1日に始業式があつてそれから10日間くらいの中に中学校の方でいろいろ小さな事件がいくつか報告がございました。今、言われたような対教師暴力とかはございませんが、保護者からの訴えによって話し合いをしている事例はいくつか聞いております。暴力事件や行為に関連して神奈川県がワースト1ということで、これが何年も続いてくると県も重く受け止めて短期の調査を県でやっている最中で、その結果があがれば9月以降の具体的なものが出てくると思います。現時点では大きなものに関してはございません。2、3中学校で小さなものがあっただけです。

竹内委員) 今までは1年間で前年度の年間の件数を報告していましたよね。今度はもっと早めに集計ができると思いますので、県の様子と町の様子を教えてもらえればと思います。

子ども育成課主幹) 県の方の今回の目的はワースト1という結果を踏まえて県としてなにかできることはないかという短期の中で調査をすることによって、すぐ対応できるように考えているようなので結果が出しだい報告したいと思います。

竹内委員) ワースト1に神奈川県がなったことは今までに何回もあります、その対応策としてお金がないのはわかっているけど、これについては言葉の語弊があるかもしれないけど、生徒指導の円滑な運営のために教員を配置するあるいは教員以外の人を配置するということは出てないのですか。

子ども育成課主幹) すぐに人を配置ということにはならないのですが、県の方で派遣した相談関係の人を集中的に暴力行為等が多いと思われるところに派遣したりということに対応しようという目的で行われると思います。

子ども育成課長) 次回の定例会につきましては、11月17日水曜日、午前9時から4階第1会議室で予定しております。午後からは大磯中学校への訪問がございます。よろしくお願いいたします。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 22 年 11 月 17 日

委 員 長 \_\_\_\_\_

委員長職務代理者 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_